

感動を調理するダイナックグループがサステナビリティ経営へ SDGsビジョン「食から始めるDYNAC」を掲げ 持続可能な社会実現への取組みを始動

「ミラブルプロダイナー」による節水で水道料金と洗剤量を削減、
環境保全団体へ売上一部を寄付、未利用魚の活用による食材活用などを実施

株式会社ダイナックホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：綾野喜之、以下 当社）は、2000年に環境委員会、2022年度にサステナビリティ経営推進室を設置し、サステナビリティ方針として具体的な取組みを制定して、活動を開始しています。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



株式会社ダイナックホールディングスとは

1958年、東京・新宿の地で創業したダイナックは、多業態飲食店の経営、ゴルフ場・リゾートレストラン等の運営受託、道の駅・サービスエリアの運営を事業とし、日本全国で219店舗（2023年8月22日現在）を展開しています。グループ企業には、飲食店経営と文化施設内のレストランの受託運営を手掛ける株式会社ダイナックと、ゴルフ場等のレストラン受託運営や道の駅・サービスエリアの運営を手掛ける株式会社ダイナックパートナーズがあります。株式会社ダイナックホールディングスは、グループ全体の経営戦略の策定・推進、およびコーポレート機能を担っています。

幅広い事業領域をアドバンテージに、外食の楽しさを創造する外食エンターテインメント企業を目指す当社は、規模の拡大だけ追うのではなく、提供商品やサービスの品質と、お客様や社会からの信頼による企業品格を追求しています。環境課題への取組みでは、食品ロスが社会問題化した2000年に環境委員会を設置し、2009年には全事業所でISO14001認証を取得しました。2022年、環境委員会から名称変更していたサステイナ推進委員会をサステナビリティ経営推進室として新たに発足させ、「サステナビリティ方針と4つの取組み」を制定しました。

サステナビリティ4つの取組み

（1）お客様・お取引先と響きあう／安全・安心な食の提供

お客様の声を広く企業活動に反映させるとともに、ダイナック品質方針「All for the Quality」のもと、〔食品安全理念〕〔食品安全活動方針〕を定め、フードチェーン全体で品質の維持・向上に取り組んでいます。

（2）自然と響きあう／地球環境への貢献

持続可能な地球環境を次世代に引き継ぐべく、事業活動に直接起因する環境負担の低減を軸にして、グループ全体での環境経営を推進していきます。

（3）社会と響きあう／地域創生・社会貢献

地域の生産者・自治体と連携し、食を通じて持続可能な街づくりや地域活性化に向けた取組みを推進し、地域の成長力を確保することを目指します。

（4）従業員と響きあう／ダイバーシティ経営

「ダイバーシティ経営」を人事の基本方針とし、新たな価値創造に挑戦する「人材育成」と従業員一人ひとりが最大限に力を発揮する、創造性あふれる「職場環境づくり」を目指しています。



サイエンス社と「業務用厨房改善システム」を共同開発、その効果について



ミラブルプロダイナー

ファインバブル※1製品の製造・販売及びメンテナンスを手掛ける株式会社サイエンス社との共同開発により、厨房環境の改善を目的としたシステム、「ミラブルプロダイナー」を誕生させました。グラス・食器洗浄用の「ミラブルプロダイナーシンク」と、調理用床洗浄用「ミラブルプロダイナーデッキ」の使用により、店舗厨房では節水と洗浄力がともに向上。2023年1月から7月の原単位（円 / 売上千円）あたりの水道料金は、2019年対比で**21%削減**でき、原単位（g / 売上百万円）あたりの洗剤使用量も**19%低減**しました。システムの全店導入が決定し、地球環境への貢献やダイバーシティ経営の推進につながっています。

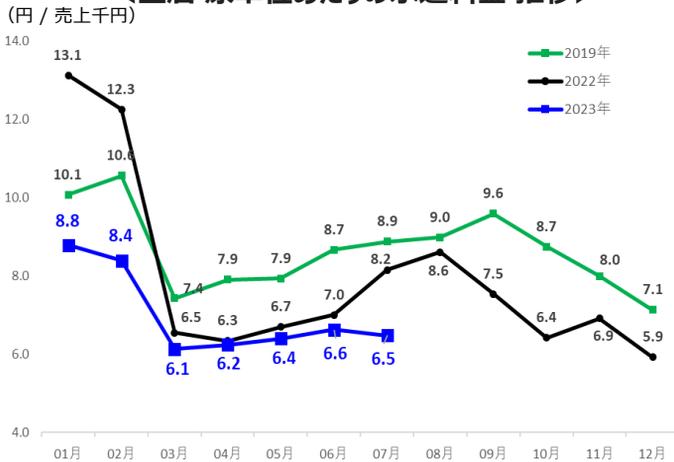
2019年1月～7月期と2023年1月～7月期の対比（2023年8月8日現在）

原単位（円 / 売上千円）あたりの水道料金 **21%削減**

原単位（g / 売上百万円）あたりの洗剤使用料 **19%削減**

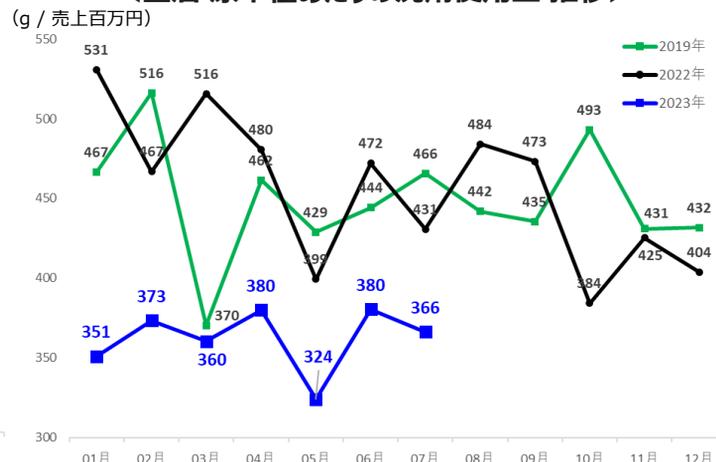
※1 地球環境浄化や地球資源消費削減への貢献が期待されている直径が100μm（=0.1mm）より小さな泡。

<全店 原単位あたりの水道料金 推移>



2023年1-7月
原単位あたりの水道料金 対2019年比**21%減**

<全店 原単位あたりの洗剤使用量 推移>



2023年1-7月
原単位あたりの洗剤使用量 対2019年比**19%減**

環境保全や食材ロス貢献を目指す新業態の展開

新業態は、サステナビリティ方針に沿って立ち上げています。北海道根釧地区の酪農が盛んな浜中町で作られるの酪農製品などを使った北海道イタリアンレストラン&カフェ「北国とミルク」（東京3店舗）では、「北海道チーズソースのハンバーグパスタピアンコ（税込1,738円）」の売上の3%を同町の環境保全団体NPO法人シマフクロウ・エイドへ寄付しています。2023年1月に**16万5,137円**の寄付を行いました。これは「北国とミルク」で、2022年の対象商品売上の3%です。

寄付額：16万5,137円（2023年1月）

寄付先：環境保全団体NPO法人シマフクロウ・エイド

関連URL：<https://fishowlaid.jp/>



都会にしながら“釣り魚”をリーズナブルに楽しめるお店「釣宿酒場マヅメ」（関東6店舗、関西3店舗）では、都内近郊の釣宿（一部漁港）と提携し、処理できず廃棄されることもある規格外の魚や釣れ過ぎた魚（未利用魚・漁港廃棄の魚）を買い取り、食材活用に貢献しています。2023年1月から6月では、仕入額の**18.9%**となりました。

また、ビーチクリーンイベントの参加や、マヅメオリジナルグッズの売上5%を環境保護団体に寄付するなど、海洋プラスチック削減や海岸保全に取り組んでいます。マヅメオリジナルグッズとしてキャップとTシャツ（税込2,000円）を販売。これら売上の5%を一般社団法人サーフライダーファウンデーションジャパンへ寄付を予定しております。

販売実績：キャップ 31個 / Tシャツ 37個 税込13万6,000円（2023年6月30日現在）

寄付先：一般社団法人サーフライダーファウンデーションジャパン

関連URL：<https://www.surfrider.jp>



■ 地産地消と地方創生の取組みも推進中



ダイナックパートナーズによる道の駅やサービスエリア、ゴルフクラブレストランの運営は、全国26都道府県の100店舗に上ります。食を通じて地域の生産者や人々とつながり、「人と地域を最高の笑顔に」をテーマ活動。地元の朝獲れ野菜の販売や地元食材でのメニュー開発、地産品のお土産販売など地域創生をお手伝いしています。中でも、2013年オープンの「道の駅 まくらがの里 こが」（茨城県古河市）は、地産地消のテーマパークとも言うべき「おいしい・たのしい」地域の拠点に成長し、地元生産者の野菜や味噌、惣菜の販売や地産地消メニューが食べられるフードコートなどが人気です。

<https://koga-michinoeki.com/>

ダイナックによるダイナミックキッチン&バー「響」では、以前から全国各地の生産者から仕入れた食材を使用した料理の提供や、食材と日本酒のマリアージュの提案など、地産都消に積極的に取り組んでいるブランドです。7名の生産者が共同で立ち上げた、農業法人の煌輝奥能登株式会社と連携し、毎年、農家の方が所有する田んぼで米作りを行っております。2023年度は、粟蔵水稻株式会社で5月に田植えを行い、9月に稲狩り予定です。

<http://awakurasuitou.jp/>



サステナビリティ方針

わたしたちダイナックグループは

『感動を調理して、食の価値を広げていく。』をパーパスに掲げ、

お客様・従業員そしてステークホルダーに寄り添い、豊かで楽しいコミュニケーションを“食”を通じて実現します。

そして、食文化の発展、新しい価値と感動を創造し、持続可能な社会を実現することを目指します。

SDGsビジョン

わたしたちダイナックグループは、豊かな自然の恵みを受けて、お客様に食を提供しています。これからも食の楽しさをお客様に伝えていくために、豊かな自然を次の世代に引き継ぐために、人と自然が互いにより影響を与えあい、持続可能な社会を目指します。SDGsは、全世界が達成すべき17の目標と169のターゲットを設定し『誰一人取り残さない』世界の実現を目指す取り組みです。ダイナックグループでは本業である『食』を通じて貢献できる活動を積極的に実施していきます。



株式会社ダイナックホールディングス
代表取締役社長 綾野 喜之

本物の感動体験を味わってもらうために、食の新たな可能性を創造し続ける企業として、環境への取り組みだけではなく、多様性のある社会と地球環境と共生し、持続可能な社会を実現することを約束します。「食」を通じて、当社に係るすべてのステークホルダーに寄り添い、「感動を調理して、食の価値を広げていく。」にこだわり、より豊かな生活の実現にグループ一丸となって追求していきたいと考えています。

ダイナックグループについて

1958年、東京・新宿の地で創業。多業態飲食店の経営、パーティ・ケータリングサービスの企画・運営・進行、劇場や音楽ホールなどの文化施設内レストラン・ドリンクコーナーの受託運営を手掛ける株式会社ダイナック、ゴルフ場等のレストラン受託運営、道の駅・サービスエリアの運営を手掛ける株式会社ダイナックパートナーズ、これらグループ全体の経営戦略の策定・推進、およびコーポレート機能を担う株式会社ダイナックホールディングスで構成されます。全国にゴルフクラブ・レストラン90店、バー・レストラン112店、道の駅・文化施設等24店の計219店舗（2023年8月22日現在）を運営しています。

【会社概要】

社 名 : 株式会社ダイナックホールディングス
創 業 : 1958年3月
本社所在地 : 東京都港区台場2-3-3 サントリーワールドヘッドクォーターズ内
代 表 : 代表取締役社長 綾野 喜之
事 業 内 容 : ダイナックグループ全体の経営戦略の策定・推進、およびコーポレート機能
U R L : <https://www.dynac.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先
株式会社ダイナックホールディングス 広報担当：大城・渡邊
mail : info@pr-office.jp 電話：03-6849-2812
携帯(大城)：070-4566-3270 (渡邊) 090-9607-4921